

【提出様式・CS校】 令和6年度 豊島区立学校 学校評価 自己評価表

豊島区立 池袋本町小学校 学校

評価対象者数 (人)			
児童・生徒数	保護者数	教職員数	地域の方
518	246	30	7

領域	豊島区教育ビジョン2019基本方針等	評価番号	評価項目	年間評価																学校関係者による評価		次年度に向けた改善策	
				児童・生徒				保護者				地域				教職員				自己評価概要	学校関係者評価の意見		標語
				4	3	2	1	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0	4	3				
I	就学前から小学校・中学校への円滑な接続	I-1	学校は、関係諸機関等(保育園や幼稚園、小学校、中学校)と連携を図ろうとしている。	児童・生徒を対象としたアンケート集計表をご参照ください。	88	128	7	3	20	6	0	1	0	0	25	3	1	1	保護者肯定回答は、87%だった。園児の小学校見学や小学校行事への中学生の参加など連携をとることができた。	・幼小連携は引き続き、参観週間や体験教室を行う。また、学期1回ある保幼連絡会にて情報共有を図る。 ・小中連携では今まで以上の連携を図り区内の連携校モデル校として児童生徒間交流、学習の実態把握、課題の共有を図る。分掌や時程の工夫を図る。	A		
			学校は、子どもの学力の定着・向上のために、分かりやすい授業を行っている。		100	126	5	0	15	1	3	0	0	3	22	8	0	0	保護者の肯定的な回答は、91%を超えていた。学力調査の授業改善やICT研修などを行い、授業では、実物投影機や書画カメラ、タブレット端末、意見を集約するアプリ等を活用し、学習指導力向上とICTの活用推進を図った。	・学年内交換授業の導入や指導方法工夫改善加配を活用し、問題解決的な学習展開や魅力ある教材の提示、体験的活動の工夫、ICT機器の効果的活用などにより、45分間思考し続ける授業を展開する。 ・自由進度学習や複線型授業等による個別最適な学びや学びを深める協働的な学びを推進する。 ・「めあて」と整合した「まどめ」、「めあて」に基づく「振り返り」を授業の基本セットとした授業改善を図り、児童によるアンケートで検証する。	A		
II	確かな学力の育成	II-1	学校は、ICT機器やタブレット端末等の活用により、分かりやすい授業の実施や子どもの学びの意欲の向上に取り組んでいる。		120	106	13	0	7	2	3	0	0	2	20	10	0	0	保護者肯定回答は、86%だったが、年35回の道徳を計画的に行い、児童が互いによりよく生きるための人間関係の育成に繋がっていった。	先日、低学年の子ども達が保育園へ来る機会があり学校の教科について話があった時に道徳が嫌いだとの意見が数人いたことが気になりました。算数等に関しては明確な点数が出てくるからなのでしょうか。	A		
		III-1	学校は、道徳科の時間を含めた全教育活動をとおして、互いの良さを尊重し合う温かい学校づくりを推進している。		108	104	8	0	26	2	4	0	0	1	24	6	0	0	保護者肯定回答は、96%だった。計画的な体育朝会を行った。また、なわとび週間、マラソン週間など児童が関わる取組を実施した。食育メモを通した、日常の給食について指導を行い、健康教育の推進を図った。	・道徳授業地区公開講座と池本トーク(熟議)を同日に開催し、保護者や地域との連携を深めるとともに、保護者や地域との協働体制を築き、日常生活で発揮される道徳的実践力の向上を図る。 ・同和教育、拉致被害者の人権教育を年間位置づけ特に12月は池本人権週間としていじめ防止授業を実施するとともに、4~6年生では豊島区子どもの権利に関する条例の学習パンフレットを活用し権利侵害について考え自分事として捉える態度を育てる。	A		
III	豊かな心の育成	III-2	学校は、生命を大切にできる態度や思いやり、優しい心を育てている。		102	118	6	1	19	2	4	0	0	1	24	6	0	0	保護者肯定回答は、96%だった。計画的な体育朝会を行った。また、なわとび週間、マラソン週間など児童が関わる取組を実施した。食育メモを通した、日常の給食について指導を行い、健康教育の推進を図った。	・時程を工夫し池中グラウンドを活用した運動機会を調整する。 ・年間を通した体育朝会を実施し長縄大会を学期1回行い記録の向上を競い合う。また、地域と連携した校外を活用したマラソン大会を引き続き実施する。 ・栄養士による食育授業、給食委員会によるお水を白くしようキャンペーン等で水の大切さを伝え残滓率を減らす。	A		
		IV-1	学校は、子どもの体力向上や健康の促進に、積極的に取り組んでいる。		122	110	9	0	5	3	4	0	0	0	26	4	0	0	年3回のふれあい月間を通して、いじめアンケートの定期実施、面談を行い、いじめの未然防止や早期発見、早期対応を行った。また、心理検査(i-check)を活用して、一人一人の生活や心情に目を向ける指導をしたことを伝えた結果、保護者肯定回答は86%だった。今後ともさらなる周知が必要である。	・週1回はいじめ不登校小委員会にて未然防止を図る。また、学級の規律の乱れが見られ始めた学級には継続的に池本学級満足度調査を実施して対応を図る。 ・週末の学年ブロック別コーディネーター会議で対応を検討する。 ・特別支援教育の理解を深めるため年度当初たんぼ学級の先生からの研修会を実施する。	A		
IV	健やかな体の育成	IV-2	学校は、充実した食育指導を通して、健康教育に取り組んでいる。		194	47	1	1	3	3	0	0	0	4	29	1	0	0	学校運営協議会のご意見や保護者アンケートを基に改善に努めた。保護者からの要望に応え、項目に合わせて具体的に活動を行った。その結果、保護者からの学校への保護者の肯定回答は、93%であった。	・公開授業や行事後のアンケートや池本トーク(熟議)の話題を基に随時改善を図る。 ・イベントの公開案内や常時授業の様子を見ていただけることを周知すると共にHPやクラスルームなどで学校の様子を周知する。	A		
		V-1	学校は、いじめ防止等(未然防止、早期発見、早期対応)に学校全体で組織的に対応している。		85	127	4	3	27	3	2	0	0	2	27	3	0	0	毎日HPを更新し、学校の様子を伝えた。CSボランティアを通して、藍染めや畑の管理を行った。また、授業公開、保護者会、学校参観週間などを通して家庭や地域社会からの理解を得て、保護者の肯定回答は、98%となった。	CSメンバーに出来れば町会長をもう少し入れていただければ町会長にも学校のことがわかっていただけたと思う。 地域の方々が小学校に関わる事が多く協議会でもいろいろな意見が出て協力的であると感じています。 先生方との距離も身近に感じています。 マラソン大会では交通整理の手伝いをしてくれる卒業生もいた。	A		
V	一人一人を大切に教育の推進	V-2	学校は、子ども達の気持ちを理解するために、一人一人に寄り添いながら、指導を行っている。		78	125	13	3	27	1	4	0	0	2	24	6	0	0	6年生が下級生に調べたことを伝える活動を行っていることやISS地域見守り隊と連携しながら児童が安全に登校できるように見守っていることなどISSの取組について積極的に周知を行い、保護者の肯定回答は89%であった。	保護者からISSとはという質問があった。子どもの態度は高いのだが、根本がわかるように説明しておくとう良い。	A		
		V-3	学校は、特別支援教育や発達障害等に関して、一人一人に適切な指導を行っている。		92	91	4	2	57	3	3	0	0	1	27	2	1	0	分掌の明確化や会議の精選、業務の偏りなどを改善したことで、教員肯定回答は、96%だった。	教職員の働き方改革が社会的問題となっておりますが、子ども達にとって教育の場が、人間形成においても大切な場である事を多方面から問題提起しても良いのではないのでしょうか。	A		
		VI-1	学校は、秩序があり、子ども達は落ち着いて学校生活を送っている。		105	126	7	1	7	1	5	0	0	1	18	11	1	0	・池中との合同避難訓練や合同の防災授業を改善して実施する。 ・引き続き地域見守り隊による登下校の見守り、地域と連携した地域安全マップづくりを行う。 ・三校合同あいさつ運動やPTAと連携したあいさつ運動を通して心の安全の励行。	A			
VI	教師力の向上と魅力ある学校づくり	VI-2	学校は、保護者や地域の方の意見や要望を受け止め、学校改善に生かしている。		98	111	9	0	28	2	4	0	0	0	23	7	0	0	・校務分掌の見直し、配布物の電子化、chromeブックを活用した連絡体制等で効率化を図る。	A			
		VII-1	学校は、学校や子ども達の様子を、学校だよりやホームページ、学校公開等によって、分かりやすく伝えている。		163	77	4	2	0	7	0	0	0	0	25	4	1	0					
		VII-2	学校は、家庭や地域と協力しながら子どもを教育している。		148	94	2	0	2	4	3	0	0	0	26	4	0	0					
VII	家庭・地域との連携	VII-3	学校はコミュニティ・スクールを推進し、保護者・地域住民等が学校運営に参画し、学校と一体となって子どもたちを育む体制を構築している。		127	106	2	0	11	5	2	0	0	0	23	7	0	0					
		VIII-1	学校は、安全・安心な学校づくりに関する取り組みに関する教育を推進している。		117	104	3	1	21	4	2	0	0	0	23	7	0	0					
VIII	特色ある教育活動	VIII-1	学校は、安全・安心な学校づくりに関する取り組みに関する教育を推進している。		117	104	3	1	21	4	2	0	0	0	23	7	0	0					
IX	働き方改革	IX-1	学校は、校務支援システムの活用や「チーム学校」を意識した業務分担等により、組織的に業務の効率化・最適化を目指して取り組んでいる。												21	8	1	0					

※学校関係者による評価の評語は、自己評価結果について以下の視点で行う。 A 評価は妥当である B 評価はおおむね妥当である C 評価は妥当ではない D 評価方法を見直す必要がある